



第2回定例会(6・23～26)

3月に行われた第1回定例会が、防か新型コロナウイルス感染症に対する策を講じて引きました。ソーシャルディスタンスを取るため、議案や質問に応じて出席者替りをえじ取らす工夫を行いました。一般質問は、25日に5名、(概要は2ページ)5ページ)が行いました。26

第2回定例会は6月23日開会し、専決処分11件、令和2年年次補正予算2件、条例の改正案18件の議案31件、意見書案4件が審議され、議案31件、報告2件、条例改正案4件が付託され、議案2件、条例の改訂結果もつべて原案どおりに閉会しました。



あかびら市議会

かわら版

No. 56

市議会のコロナ対策



議会傍聴を希望される皆様へお願い
新型コロナウイルス感染予防のため、
次のことをつきまして、ご協力をお願い
します。

- ・咳や発熱のある方の傍聴は、ご遠慮願います。
- ・傍聴する際は議場(傍聴)入口付近に備え付けの消毒液で、手指消毒をお願いします。
- ・傍聴の際はマスクの着用をお願いします。

※感染予防策として、議場へのペットボトルまたは水筒(水かお茶)の持込みを認めております。



2020/8/1

一刻者俱楽部



鈴木 明広

一般質問（7名）

一般住民等への抗体スクリーニング検査について

〔質問〕当市において定期的な新コロナウイルスの定量、大量で継続的な抗体検査を行い、感染防止に努めるべきである。市中における疫学的なデータを市民に示すことは、感染予防の啓発につながる。また今冬また予想されるインフルエンザ流行時期の前に抗体検査を行えば、患者が抗体を持つていると事前にわかるので医療関係者も安心してインフルエンザ検査と診察ができる便宜点がある。ぜひ市独自で行うべきであると思うが見解を伺う。

〔答弁〕抗体が陽性であることは、様々な人権問題に繋がるのでその取扱いは最善の注意が必要であります。様々な人権問題について、市は研究機関の協力を得ながら抗体検査を実施する体制整備の検討を進めたいと思う。

学校のトイレ掃除、消毒について

〔質問〕日本医師会C.O.V.I.D-19の有識者会議は、中国の研究では新コロナに感染した73人の入院患者の便中ウイルスについてPCR検査で53%が陽性を示したと報告しました。新コロナウイルスは腸管から吸収され排泄物と一緒に体外へ大量に放出されて飛沫となりトイレの床が暴露され、それをおよびます。米ハーバード大学「建築物衛生アレン氏によると安全を保つ方法として、トイレ

ある。また市の疫学調査レベルで無作為抽出の検査を行うことは個人情報の取り扱いから注意が必要である。しかしながらウイルスと長時間の共存を考えると、感染リスクの高い職種の中で希望者を中心に、国や道、もしくは研究機関の協力を得ながら抗体検査を実施するといふに思う。

新政クラブ

赤平市独自のコロナ対策について

〔質問〕この度「新型コロナ感染症対応地方創生

〔答弁〕御家瀬 遵

〔質問〕日本医師会C.O.V.I.D-19の有識者会議は、中国の研究では新コロナに感染した73人の入院患者の便中ウイルスについてPCR検査で53%が陽性を示したと報告されました。新コロナウイルスは腸管から吸収され排泄物と一緒に体外へ大量に放出されて飛沫となりトイレの床が暴露され、それをおよびます。米ハーバード大学「建築物衛生アレン氏によると安全を保つ方法として、トイレ

の換気の徹底。非接触型の水栓、ソープディスペンサー、タオルディスペンサーの設置等を勧めています。また入口の抗菌マットは感染防止に効果的と考えられる。このようないい職種の中でも希望者を中心に、国や道、もしくは研究機関の協力を得ながら抗体検査を実施するといふに思う。

〔質問〕昨年の第3回定期会で質問したところ、自治総合センターからの

〔答弁〕必要な事業の中で一般財源の投入も考え

〔質問〕この度「新型コロナ感染症対応地方創生

〔答弁〕「学校の新しい生活様式」を踏まえ教育活動を推進しています。清掃活動も通常の感染リスク低減策の対象として進めたいと考えている。

〔質問〕この2つの対策は、国の臨時交付金を利用した対策で赤平市の一般財源のみを活用した対策は考えていないと判断される。この度、第2次交付金を含め当市の支援事業を検討する。ですが、これに加え赤平市の一般財源も活用するのか伺う。

〔答弁〕必要な事業の中で一般財源の投入も考え

〔質問〕本市では募集広報官が住民基本台帳を開覧し書き写し情報提供を行っていますが、本年2月13日に防衛大臣名にて、札幌地方協力本部長名にて紙なし電子媒体での提供を求める趣旨の要請がありました。本件に対する市長の見解を求める。

〔答弁〕当市において今後、個人情報保護条例との関係から審議会等に諮り協定を締結し個人情報の漏洩が発生しないよう適正管理を行い更に自

助成を取り付けていただけに迅速な予算執行となりました。感謝いたします。まだ、補助金の適用外路灯、防犯灯が多く、今後の対応について見解を求めます。

〔答弁〕今後の計画ですが同様の助成制度の活用を考えている。又、平成22年度に整備後、10年経過して器具の劣化及び電球の交換費用の支援について考えていく。

〔質問〕自衛隊札幌地方協力本部に対する募集対象者の情報提供について

〔質問〕本市では募集広報官が住民基本台帳を開覧し書き写し情報提供を行っていますが、本年2月13日に防衛大臣名にて、札幌地方協力本部長名にて紙なし電子媒体での提供を求める趣旨の要請がありました。本件に対する市長の見解を求める。

〔答弁〕当市において今後、個人情報保護条例との関係から審議会等に諮り協定を締結し個人情報の漏洩が発生しないよう適正管理を行い更に自

2020/8/1

衛隊に個人情報の提供を望まない方には本人又は保護者等から「除外申請書」を提供していただきたい。自衛隊への提供名簿から除外する事とし紙媒体等の提供について、再度要望があれば条例に基づく適正な手続きを経て対応したい。

新政クラブ



安藤 繁

太陽光発電施設の条例制定について

【質問】昨年9月の定例会以降進展が見られない。今回町内会の署名提出と要望を受け、今後市は作業を具体的に進めていくのか、伺う。

【答弁】環境省の「太陽光発電環境配慮ガイドライン」の説明会が、新型コロナウイルスの影響で延期となり、作業が遅れている。今後、府内でワーキンググループ等体制を整え、どのように対応でくるか検討していく。

児童虐待について

【質問】昨年は何件あったのか。福祉事務所と各関係機関との連携や取組みは、事案に適正に対応できているのか、48時間ルールは、遵守されているのか伺う。

【答弁】虐待件数は、令和元年度13件。虐待事件が発生した時は、市の職員を中心に各関係機関と連携を図り、48時間以内に安否確認を行い、連絡に努めている。

【質問】新型コロナウィルスについて

【質問】新型コロナウィルスの影響により、収入の減少した市民や中小事業者等から、市税の支払猶予について相談や申請があつたか伺う。

【答弁】4件の相談があつたが、申請はない。

【質問】新型コロナウィルスについて

【質問】新型コロナウイルス感染拡大防止対策として「図書消毒機」の設置についてどの様に考えているのか伺う。

【答弁】「図書消毒機」は、今後地方創生臨時交付金を活用して購入する計画としており、どのような機種にするか検討中である。

定資産税軽減の特例は、償却資産・事業用家屋にかかる税を収入に応じ軽減するものだが、制度の詳細な内容について決定しているのか。内容が確定次第、ホームページで周知する。

【質問】新型コロナウィルスにより、収入が減少している一般市民や事業者に對して、市の水道条例の減免規定を彈力的に適用し、水道料を減免する考えがあるか伺う。

【答弁】市としては、支払い困難な方に最大6ヶ月の支払猶予を実施している。水道会計の財源では、減免は非常に厳しい。第2次地方創生臨時交付金が財源として有力と思うが、他の事業も含めて検討したい。

【質問】新型コロナウイルス感染拡大防止対策として「図書消毒機」の設置についてどの様に考えているのか伺う。

【答弁】商業の振興に対する支援について伺う。

【質問】融資制度の利用促進、環境の整備を支援する事を基本方針とした工業の振興の支援金も感染予防対策事業への助成をし、各事業所へ消毒液の配布やプレミアム商

新政クラブ



竹村 恵一

【質問】工業の振興に対する支援について伺う。

【答弁】業績に一定程度影響を受けた事業所、個人事業主に対して3月～8月までの売上が前年同月比20%以上減少した事業者に、従業員数に応じて最大200万円まで支援する中小企業等事業継続支援金制度を創設し、雇用の確保、事業の継続を支援する。

【質問】商業の振興に対する支援について伺う。

【答弁】融資制度の利用促進、環境の整備を支援する事を基本方針とした工業の振興の支援金も感染予防対策事業への助成をし、各事業所へ消毒液の配布やプレミアム商

品券事業の数を増やし、感染拡大を防ぐ販売方法で安全に購入して頂ける様検討し、消費喚起を考える。

【質問】観光の振興に対する支援についてと中止となるイベントの予算の使い方の考え方を伺う。

【答弁】市主催の行事、各種実行委員会のイベントが中止となり、エルム高原祭りも今年度は財政状況を考慮し、予算付を見送り中止した。イベント実施に向けては、新北海道スタイルの実践や国際指針を注視し、感染対策を講じ実施出来る仕組みづくりを検討したい。

【質問】学校教育の充実について、学力、心、体力の育成とは勉学、行事交流、部活動で育成されると考えます。中止となる行事や部活動が最後を迎える3年生への市教委としての支援を伺う。

【答弁】各学校の努力により学習すべき内容が修了出来る様、連携し進めたい。中止とした運動会、

2020/8/1

体育大会は体育の授業の中で一部競技を実施し、保護者が参観出来る様に各学校で検討している。部活動は屋外の野球、屋内のバレーは感染リスク低減策を講じながら対外試合の計画があり、テニスも親睦大会の計画がある。今後は例年通りにならない部分も多々あるが、学校と連携協力し、市教委としてどんな支援が出来るか検討していきたいと考えている。

制度のコロナ禍での変更点などはどうなつていて

日本共産党



木村 恵

保護者自立支援制度や住宅確保給付金といった制度もある。支援金及び給付金制度のコロナ特例としては要件緩和や、据え置き期間の延長、無利子、保証人不要などとなっている。生活保護は変更点はないが、厚生労働省の通知で、認定業務等に際し、ケースごとに対応していく。

【質問】新型コロナウイルス感染症による生活困窮などに対する対応について

【答弁】新型コロナの影響を受け困窮する市民が生活を立て直すために利用できる制度はどのようにものがあり、それらの制度のコロナ禍での変更点などはどうなつていて

【質問】避難所について

【答弁】これから大雨や

【答弁】生活福祉資金として緊急小口資金の特例貸付、総合支援資金の特例貸付がある。また、生

活困窮者自立支援制度や住宅確保給付金といつた制度もある。支援金及び給付金制度のコロナ特例としては要件緩和や、据え置き期間の延長、無利子、保証人不要などとなつていている。生活保護は変更点はないが、厚生労働省の通知で、認定業務等に際し、ケースごとに対応していく。

【質問】生活保護は今回のコロナ禍で保護要件の緩和がされている。このコロナ禍では誰がいつ生活困窮に陥るかわからぬ。生活保護は憲法25条の生存権の理念に基づく最後のセーフティネットです。ためらわずに申請してほしいという姿勢を示してはどうか。

【答弁】感染症対策を取りながらの収容人数は、避難所の形状にもよるが3割程度と大幅に減少する」と考えている。対策として避難所用テントなどの備品を活用して最大限の収容人数を確保できるよう努めていく。また、最後のセーフティネットにおいては、北海道の感染症対策を取りながらの避難所開設訓練の検証結果を踏まえ、要領等の見直しなどについて検討していく。

【質問】商業における対策について、「感染症対策緊急支援金」と「特別定額給付金」の支給を早急に対応し、市役所庁舎内で「ノーアンダーデー」等の取り組みを行い、飲食店、商店の売り上げに協力された事は、大変評価する。しかし、現在においてもコロナウイルスの影響で元の日常生活に戻つておらず、今後も長期化が予想されるが、今後の企業等に対する支援をどう

【答弁】経済産業省の「持続化給付金」の申請が開始され、市内では70件の事業者の申請を確認している。厚生労働省の10件ほどの申請があつた。赤平市においても飲食店等への緊急的な

対策として一律20万円の支給を51店舗に対し行なった。今後も市内の中小企業等への支援として、従業員数に応じて、最大200万円まで支給する予定である。その他に感染対策に取り組む店舗等へ商工会議所が主体となつて、アルコール消毒液を配布し、市民が安全に利用できる体制づくりに対する助成を行う。さらに「プレミアム商品券事業」の拡充を行い、市内経済の活性化に努める。

【質問】農業対策について、イベントや冠婚葬祭の自粛により、花の需要が少ない事による花卉農業や輸出の低迷による肉牛価格の低下の影響を受けている酪農経営者、さらには出荷価格の下落が予想される米農家等に対する今後の支援をどの様に考えているのか伺う。

【答弁】当市の農作物は、花、野菜、米の順に出荷され、出荷時期にならなければコロナウイルスの影



民主クラブ
新型コロナウイルス感染症対策について



【質問】経済産業省の「持続化給付金」の申請が開始され、市内では70件の事業者の申請を確認している。厚生労働省の10件ほどの申請があつた。赤平市においても飲食店等への緊急的な

【質問】農業対策について、イベントや冠婚葬祭の自粛により、花の需要が少ない事による花卉農業や輸出の低迷による肉牛価格の低下の影響を受けている酪農経営者、さらには出荷価格の下落が予想される米農家等に対する今後の支援をどの様に考えているのか伺う。

【答弁】当市の農作物は、花、野菜、米の順に出荷され、出荷時期にならなければコロナウイルスの影

2020/8/1

響は見えてこない。近隣の花卉の出荷状況を聞くと、関東方面の出荷が少ないと、イベント、冠婚葬祭の中止等で価格が下がっており、今後も厳しい状況が続くと考えている。また、肉牛においても出荷価格が下がっていると聞いている。今後も出荷状況を踏まえ、近隣の花卉のみならず他の作物や畜産も含めて、近隣の行政やたきかわ農業協同組合と情報を共有して、今後の状況に応じて検討する。

民主クラブ



伊藤 新一

新型コロナウイルス対策について

【質問】府内に於ける対策会議について、公共施設の利用中止や制限、各種事業、イベント、行事等の中止の決定、要請を行つてきたが府内協議の議論の過程を伺う。

【答弁】2月25日に赤平市新型コロナウイルス感

【質問】授業時間の確保について、夏休みの短縮で授業時間を確保し、さらに中学校3年生は冬休みにも登校日を設けていい。現状の対策で授業時間が確保できるのか、また学習発表会、学校祭、修学旅行等の行事は行う事ができるのか伺う。

【答弁】現時点では2学期に学芸会、学校祭、修学旅行等の行事は実施の方針で各学校へ工夫をお願いしている。今後再度定しての対応であり情勢変化によつては変更する可能性もあるが、学びの

染症対策本部を設置し、これまで9回の本部会議を開催し「公共施設の休館、小中学校の休校、赤平市新型コロナウイルス感染症対策緊急支援金の創設」等の対策について協議、判断をしてきた。イベント、集会、会議についても担当課を通じ団体等で決定した事項の報告を受け様々な情報の共に努めてきた。

小中学校教育について

【質問】授業時間の確保について、夏休みの短縮で授業時間を確保し、さらに中学校3年生は冬休みにも登校日を設けていい。現状の対策で授業時間が確保できるのか、また学習発表会、学校祭、修学旅行等の行事は行う事ができるのか伺う。

【答弁】「学校の新しい生活様式」に基づき手洗い、身体的距離の確保、マスクの活用を基本に行つていて。感染リスクの高い教科活動や部活動については十分な感染症対策を行つた上で実施している。今後の感染症対策については、国の第2次補正予算においての補助金効果的な対応を学校現場と協議しながら無事教育活動を継続できるよう努めいく。

保障については可能な限り対応していきたい。

学校内での感染症対策について

【質問】授業再開にあたり感染予防対策はどのような事を行つているのか、また今後新たな取り組みについての考えはあるのか伺う。

【答弁】「学校の新しい生活様式」に基づき手洗い、身体的距離の確保、マスクの活用を基本に行つていて。感染リスクの高い教科活動や部活動については十分な感染症対策を行つた上で実施している。今後の感染症対策については、国の第2次補正予算においての補助金効果的な対応を学校現場と協議しながら無事教育活動を継続できるよう努めていく。

登校児童生徒は現時点で存在していないが今後の各種教育活動の加速化の影響から発生は完全に否定できないものと考る。学習保障に必要な人的体制の強化等を学校現場と協議していきたい。

第1回臨時会 7月16日



【質問】休校が3ヶ月にも及び不登校児童生徒の発生はないのか伺う。

【答弁】新型コロナウイルス感染症に起因する不

し衛育消修赤は感染症対策として、間工事、図書館の教室の改修等への消毒液等で改修した。

お会果件件補改16件と専決処分の報告1件の議案2件が審議されました。1件の議案2件が審議されましたが、慎重に審議された結果一致をもつて原案どおり可決されました。

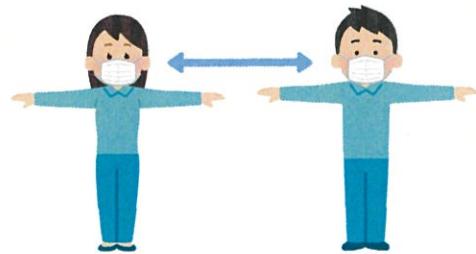
補正予算の主な内容が全一致をもつて原案どおり可決されました。



赤間小学校

《議会の動き》

- 3/31 全員協議会
 4/10 北海道市議会議長会道央支部協議会（書面会議）
 4/15 行政常任委員会
 ・赤平市新型コロナウイルス感染症対策について
 ・第6次赤平市総合計画について
 ・第2期赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略について
 4/15 会派代表者会議
 4/21 第83回北海道市議会議長会定期総会（書面会議）
 4/23 行政常任委員会
 ・赤平市新型コロナウイルス感染症対策緊急支援金支給事業について
 ・赤平市新型コロナウイルス感染症対策に関する予算等について
 5/1 行政常任委員会
 ・赤平市新型コロナウイルス感染症に関する予算等について
 ・赤平市新型コロナウイルス感染症に対する市立病院の対応について
 5/1 令和2年度根室本線対策協議会総会（書面会議）



- 5/12 全国自治体病院経営都市議会協議会第48回定期総会（書面会議）
 5/26 行政常任委員会
 ・あかびら市立病院の経営状況（10月～3月分）について
 ・赤平市合同墓プロポーザル審査結果の報告について
 5/27 全国市議会議長会第96回定期総会（書面会議）
 6/18 議会運営委員会
 6/23 第2回定例会（～26日）議会運営委員会
 6/24 行政常任委員会
 ・赤平市営テニスコート条例の一部改正について
 ・赤平市国民健康保険条例の一部改正について
 ・赤平市墓地条例の全部改正について
 7/13 議会運営委員会
 7/16 第1回臨時会

◎意見書4件可決

全会一致での採択3件

- *地方財政の充実・強化を求める意見書
 *全国学力調査に関する意見書
 *新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書
賛成多数での採択1件
 *2020年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

※詳しい議決結果及び賛否の公表については赤平市議会ホームページに掲載しています。

編集後記

6月議会は23日から26日の4日間の開催でした。議場では新型コロナウイルス感染症対策として、全員マスクの着用と席を空けて距離を取りながら行い、国の地方創生臨時交付金の活用やコロナウイルス感染症対策などを中心とした内容の議会でした。

現在、新型コロナウイルス感染症に対する治療薬やワクチンはない状況であり、今後、長期化が予想されるコロナ禍時代を見据え、市議会として、経済活動や市民生活を守るために、皆様に寄り添い、更なる対策は如何にあるべきかを含め、取り組んでまいります。ありがとうございます。

感染症対策として、自他共に守るため、新しい生活様式の下で、乗り越えていきたいと思います。

かわら版編集委員会 委員長 鈴木五十嵐成美知一繁恵 (五十嵐)

※このかわら版のお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL32-1858までお願いいたします。